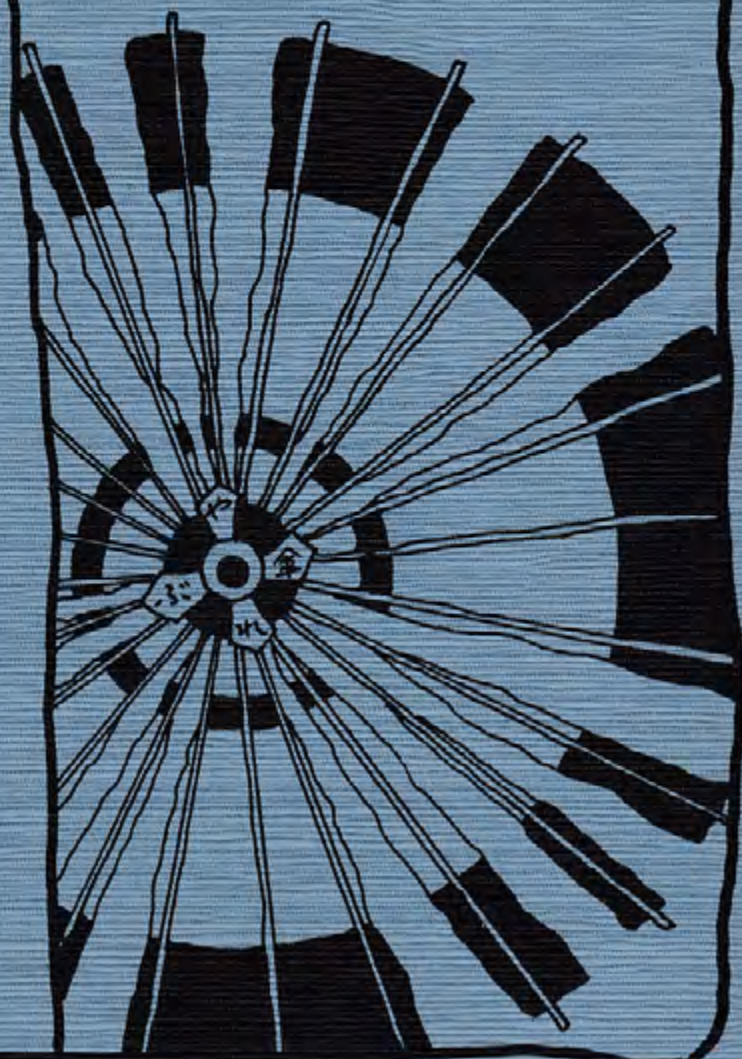


やぶれ傘



一〇三号

二〇一八年八月

古書店の奥の帳場に金魚玉	根橋宏次
あを過ぎる空に目高を見失ふ	きくちきみえ
手掬ひに水を飲むとき蛇莓	青谷小枝
マチネーの切符がとどくパリー祭	大島英昭
三本のホームがら空き夏の夜	丑久保 勲
雀来て暮るる風来てねこじやらし	廣瀬雅男
柵つなく鎖は錆びて竹落葉	瀬島酒望
頂は雲の中なり山椒魚	天野美登里
入浴中守宮は窓に息づいて	安藤久美子
夕風の浜に砂山作り置き	渡邊孝彦
昼の雷むかひの窓に灯がともる	藤井美晴
農道に電柱並ぶ麦の秋	白石正躬
追ひ込みの騎手の一鞭花柘榴	有賀昌子
蟻んこを弾けば死んでしまひけり	小山唄枝
旅客機のいつか遠のく夏の雲	秋山信行

抄 集 句 傘 れ ぶ や
大 崎 紀 夫 選

二の腕のきらきら光る夏来たる	松村光典
犬小屋の上に褪せたる麦わら帽	倉澤節子
朝採りの茄子と胡瓜の日曜日	黒木東吾
墓所までを先へ先へと夏の蝶	齋藤朋子
肩越しにつり銭渡す植木市	佐々木あつ子
青葉風杵ぬぎ石に座り込む	篠崎志津子
菌をそめる烏賊墨カレー梅雨曇	貫井照子
車椅子を押して行く人麦の秋	萩原久代
坂下る睡蓮の咲く池見えて	森美佐子
インド綿肌にさらりと更衣	山本久枝
花栗や卓にうつ伏すアルバイト	安齋正蔵
古家の建て替へられて花石榴	泉 一九
日の暮れの河原にほのと月見草	稲田延子
夏の水さぶさぶ使ふ幸せも	岩藤礼子
墓を買ふ話煮詰まる炎天下	上林富子

さるをがせ

大崎紀夫

竹やぶのそばに鶏小屋青嵐
新宿が終点蠅が去つてゆく
連発式水鉄砲に連射さる
浅瀬まで鯉きてもどる青胡桃
閘門のところで戻る蚊喰鳥

からからと空荷トラックゆく酷暑
日の暮れが近づいてゐるさるをがせ
ザリガニを釣る子の尻は地に触れて
牛蛙鳴いて日暮れがどつとくる
日の盛り暗渠の蓋の上歩き
川波が立つてすぐさま夕立に
帚木の向うに誰かしやがみゐる

金魚玉

根橋宏次

竹床几より投げ釣りの人見えて
南天の花に気付いてから雨に
モーニングコールを解除明易し
洗ひ場に鯉が寄りゐる朝ぐもり
来る波に一步とびのくサングラス
シャツターの灼けてテナント募集中
古書店の奥の帳場に金魚玉
炎昼の片付けられてゐる事故車
ここにしか置くところなき蚊遣豚
空港へ傾いてゐる雲の峰

目 高

きくちきみえ

あぢさいとベンチベンチと水溜まり
桑 熟 る る 枝 の 隙 間 に 空 少 し
梅 雨 寒 の ス マ ホ に 指 紋 ば か り つ け
匙 の 背 に メ ロ ン の 種 の つ く 日 可 な
梅 雨 の 夜 の 風 の 入 り くる 牛 井 屋
あ を 過 ぎ る 空 に 目 高 を 見 失 ふ
水 母 寄 る 河 口 に 近 き 橋 の 下
う ね う ね と ま つ す ぐ に ゆ く 青 大 将
噴 水 の 落 ち る あ た り が 光 り け り
揚 げ 船 の 灼 け る 時 刻 と な り に け り

炎 昼

青谷小枝

薯 の 花 島 の 片 側 段 畑
手 掬 ひ に 水 を 飲 む と き 蛇 苺
飲 め ま す と コ ッ プ 伏 せ あ る 山 清 水
梅 雨 開 く る 舳 先 に 白 き 波 頭
数 多 む て 水 母 の 寄 る も 離 る も
窓 の 雨 抱 け ば と ん と 寝 る 子 猫
け つ こ う な 降 り と な り け り 夏 椿
炎 昼 の 銀 座 の 空 を 飛 行 船
カ フ ェ ラ テ の ハ ー ト を く づ し パ リ ー 祭
走 塁 決 ま る 炎 昼 の 土 ぼ こ り

パリー祭

大島英昭

富士塚に礎あり櫟よく茂り
次々と植田に尾灯映しゆく
ゆつくりと雲の千切るる梅雨晴れ間
グラウンドゴルフたうもろこしの花
宵祭りバナナチヨコ屋に客が来る
ちよつとでもとまば藪つ蚊の餌食
マチネーの切符がとどくパリー祭
墓石が灼けブロックの塀が灼け
体育館屋根よりニヨツと雲の峰
流れゆく芥の速さ夏蓬

夏の夜

丑久保勲

休日の時 刻表 見る 柿 青葉
街 薄暑 銀座 通りの バスの 列
鴨川 の 茅花 流し と 堰 の 音
手洗ひに 丸善へ 入る けふは 夏至
庫裡前に 停まる 軽トラ 沙羅の花
杜若の 沼へと 社家の 角曲がり
三本の ホームがら 空き 夏の夜
客待ちの 駅の タクシー 雲の 峰
炎 昼の 木 蔭 古本市 の 棚
日 盛りを かう もり 傘の 影 踏んで

ねこじやらし

廣瀬雅男

老鶯や山の端にある昼の月
街道の家毎に咲く栗の花
日に焼けし腕を湯舟に沈めけり
武蔵野の夕日明るき麦畑
慶長の板碑や椎の花匂ふ
山畑のたうもろこしの花に風
夕焼けの雲を残して山暮れる
路地に風風船葛揺るるほど
雀来て暮るる風来てねこじやらし
地下街の休み処の作り滝

竹落葉

瀬島洒望

小手毬やどちらからともつかぬ風
砂町の青蔦の這ふトタン塀
真つ白な雲浮かびをり麦の秋
指で穴塞ぐ盃初鰹
柵つなぐ鎖は錆びて竹落葉
茶筒へと新茶を移し終へにけり
割り箸に辛子をちよんと心太
走り根をまたぐ夜店のありにけり
オルゴールの音を流して造り滝
梧桐の咲くところより上り坂

山椒魚

天野美登里

岸壁の船に丸窓海鵜群る
海鞘を食ぶ旅の途中の夜の街
紫陽花やテニスコートの球拾ふ
鳥の声聞きつつ雨の山法師
温泉のにほふ流れや忍冬
麦刈りを近くにガムを噛みながら
白靴や海辺に自動販売機
朝雲の流れてゐたるみずすまし
頂は雲の中なり山椒魚
ドーナツの砂糖サラサラ雲の峰

守 宮

安藤久美子

夏草のなかの石段下りて沢
入浴中守宮は窓に息づいて
一呼吸くちなしの香と気づくまで
湯宿への額紫陽花の道狭く
時の日のバームクーヘン五分
街道を見下ろす席に鰻喰ふ
太つちよの朝餉のエクアドルバナナ
黙つづくあぶくの上るソーダ水
朝焼けと鳥のざわめき砂時計
足早に蜚蠊こきり通りすぐる音

夕 風

渡邊孝彦

どぶ川の水は暗渠へねぢればな
かけつこのゴールテープに夏蝶来
公園は十葉だらけ池に雨
揚羽蝶クロガネモチを一回り
草茂る真昼のコインパーキング
睡蓮の池排水口に水の音
両側に田んぼひろがり竹煮草
蝉のこゑ雲が木立を昏くして
柵越えし蔓炎天に漂ひて
夕風の浜に砂山作り置き

昼の雷

藤井美晴

かわとんぼ川にけむりのやうな雨
軒近く来て梅雨寒を鳴く鳥
「昼間」てふ町から便り梅雨の晴れ
柵に溜つてゐたる夏落葉
昼の雷むかひの窓に灯がともる
行きつけの飲み屋が休み熱帯夜
マンホール鑄物の蓋が灼けてをり
平らかに迅し病葉流れ継ぐ
切崖に浜木綿沖に漁り船
今日は海荒れて夾竹桃の花

麦の秋

白石正躬

木漏れ日のときどきあたる夏落葉
門わきのほたるぶくろの袋たれ
農道に電柱並ぶ麦の秋
川べりの雀の槍のひとところ
草取るに手ごたへのある墓の草
かん高き木魚の音は梅雨の朝
草取りの軍手干しある塀の上
朝曇りししばらく鳩が電柱に
川岸を空バスが出る朝曇
土手に出て今日の夕焼け見晴るかす

花石榴

有賀昌子

追ひ込みの騎手の一鞭花柘榴
夕立一過蔓の支柱がぐらぐらに
向き合ひて話すことなき夏の夜
初なりの胡瓜ひときはあをき味
宿坊は男手ばかり瓜刻む
きしきしと紅絹裏ほどく梅雨曇
耕耘機そのままにして花菖蒲
へぼ胡瓜ぶらりぶらりと揺れてをり
飴切りの顔みなゆがみ夏祭り
雪溪にいつのまにやら猿がゐて

みんみん

小山唄枝

五月雨や電車タタンと去つてゆき
水に浮く塵に影ある夏の宵
蟻んこを弾けば死んでしまひけり
夏草の一本伸びる道の際
肩に貼る湿布の匂ひ戻り梅雨
夏灯顎に一本白き髭
暑き夜の床の釘に怯えけり
蝉ふいに鳴きやみ常の職場なり
アロハシャツ着て旧友は車椅子
みんみんやどんどん道が狭くなる

夏の雲

秋山信行

バイパスを故郷にぬける麦の秋
七変化母の好みし色合ひに
どくだみや飯場の窓に灯がともり
周防路の築地にこぼれ夏みかん
赤子泣く声をとほくに草むしる
睡蓮や庫裏に夕餉の煙たつ
さぐる手に新じやがの玉ふれにけり
旅客機のいつか遠のく夏の雲
滴りや洞に羅漢のならびぬて
縁先に夏帽ならぶ峠茶屋

枇杷の実

松村光典

わが庭の枇杷の実とつてきたりけり
二の腕のきらきら光る夏来たる
じんめりとぬるぬると這ふ梅雨の汗
南風走る木の葉もごみもみな走る
三つ目の帽子目深に大南風
夏帽子飛んで拾つてまた飛んで
雨と風いつもと違ふ夏が来た
正午には蝉も鳴き止む暑さかな
思ひ切り汗を流して生ビール
雲白く八月六日近づけり

◇ 9月・10月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
9月	4日(火)	AM9:00	こなから会	あいパル	WEP編集室
	4日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン4	瀬島 孟
	5日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン3	丑久保 勲
	7日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	7日(金)	PM6:00	なごみ会	武蔵浦和コミセン	丑久保 勲
	15日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(土)	AM10:00	楽天会	あいパル	廣瀬雅男
	22日(土)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
10月	1日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン4	丑久保 勲
	2日(火)	AM9:00	こなから会	あいパル	WEP編集室
	2日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン3	瀬島 孟
	5日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	5日(金)	PM6:00	なごみ会	武蔵浦和コミセン	丑久保 勲
	20日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	21日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	古河庭園	丑久保 勲
	27日(土)	AM10:00	楽天会	あいパル	廣瀬雅男
	27日(土)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

〔注〕 ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。
 9月7日の「なごみ会」は武蔵浦和コミセン第8集会室です。
 10月5日の「なごみ会」は武蔵浦和コミセン第1集会室です。
 10月21日(日)の吟行。集合は10時。集合場所は古河庭園・正門前。吟行地は古河庭園。句会場は滝野川会館401集会室。

◎連絡先 瀬島 孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856